

平成十六年度

# ふるさと上越ネットワーク総会開催

総会に先立ち、理事会が開催されました。

五月二十四日、アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北）において、会員約九十名が参加し、平成十六年度ふるさと上越ネットワーク総会が開かれました。

総会では、太田会長の挨拶、また市長より来賓祝辞を戴きました。平成十五年度事業報告、決算報告、平成十六年度事業計画、予算について審議され、役員の一部改選を含め、全ての議案が承認されました。

引き続き市政についての活発な意見交換が行われました。

また、統いて「ふるさと越後大使」名刺交付式が行されました。



# 会長挨拶

Jネット会長

## 太田四郎

(本町五丁目出身)

会長の太田でございます。本日は「多用の中、この平成十六年度の総会に、ご来賓の方々はじめ多数の会員の皆様方、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。

開会にあたりまして一言、「あいさつを申し上げますが、それに先立ちまして、創立以来ずっと副会長をやつておられました今井副会長さんが、四月の十七日に急にお亡くなりになりました、本当に創立以来、満七年の間やつていただいたのですが、一生懸命やつていただいていろいろなことがあります。残念なこととございまして、心から哀悼の意を表したいと思っております。

それでは、「一言」挨拶をいたしますが、皆さんご承知の通り、世の中、長い間の不況もやつとどもし火が見え始めて、景気の回復の兆しが見え始めたとはいうものの、内外の諸情勢、イラクの

情勢、今日も問題になつております北朝鮮の拉致問題、その他いろいろな情勢、それから国会もいろいろ難しい情勢で、多事多難な状況でござります。このような中、ふるさと上越ネットワークも平成九年設立以来、おかげさまで満七年を経過いたしまして、八年目を迎えることができるのでございます。

この間、皆様方のご協力によりまして、各事業の内容も充実してまいりました。新しい事業としましては、今年一月に第一回の文化講演会を、後で説明もございますが、盛況裡に立ち上げることができました。そして本総会では、ふるさと上越をいろいろPRしていくため、「ふるさと越後大使」をスタートさせることになりました。その他、年二回の会報や、あるいは毎月のJネットだよりも会員の皆様たくさんのが投稿をいたたくようになつて来ておりまして、号を追つて盛会になつてきております。また、各

地のJネットサロンも次第に参加者も増えて参りました。Jネットが定着してきているというような状況でございまして、本当に皆様のご協力、誠にありがとうございました。

八年目を迎えまして、八字に因みまして、未広がりの年にしたいなと思っておるわけでございますが、いつも気になるのは会員数の減少傾向で、なんとか増加のきっかけをと考えております。



来年一月から上越市は大合併ということになりますが、ついこの間テレビを見つけておりましたら、おそらく九州の福岡だと思いますが、市町村合併が非常に紛糾しておるというようなテレビ報道がございました。こういう紛糾している地域ばかりではなくに、うまくいっているところも全国にはあるということで、字幕に大きく、第一位上越市、十四市町村というふうに出ておりました。それから第二位が新潟市、これ十二だったか十三だったか、そういう数字で、出ておりました。やっぱり、上越市が市町村合併で第一位のと、いうふうな、前々からそういうふうに思つておった訳であります。されだけテレビ報道で大きな画面に太い字で書かれますと、実感として非常に上越市がんばっているなど、いうような感じでございました。面積的にみますと、一〇〇〇平方キロ近くということになりますと、大阪市が一九〇〇いくらですか、大阪府の半分以上、それから、東京都が二二〇〇平方キロですから、東京都の半分近くの面積のところに二十万ぐらいの人人が住んでいるのが上越市というようなことでございまして、これから上越市として一層の行財政改革を進められ、大発展を遂げられて行かれるのには、いろいろのご苦労があるんだろうと思ひますが、ひとつ頑張つていただきたいと思っております。

行政区画がそのように拡大して参りますと、Jネットの会員の範囲も広がつてくるわけで、

従いまして、それがまた会員増のひとつの大いなチャンス、従いまして、会員の皆様方につきましてはまだ入つてみえない方々に対しまして、お知りありの方々の、是非、ご紹介をお願いして、よろしくご協力のほどお願ひいたしたいと思つております。

今日は年一度の総会でございます。懇親会もございます。世の中、先ほど申し上げましたような非常に不安で、むつかしいことの多い、先がありません自分でコントロールできないというような時代でございますが、このような時こそやっぱりみんな知つてゐる人が、集まりまして、いろんな知恵を出し合ひながら、安心しあつていくというのが、そして、これを足がかりにして、大躍進を遂げるのだというのに、一番いい時期ではなかろうかと思つています。

今日ひととき、大いに楽しんでいただきたいと思つております。最後になりましたが、皆様方の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げて、ご挨拶にさせていただきます。どうもありがとうございました。



# 来賓祝辞

上越市助役

## 中川周一

新しい議員三十人が誕生いたしました。今後はこの三十名の議員をはじめ、多くの皆さんと手を携えて、市民本位のまちづくりに誠心誠意、引き続き努力してまいります。

改めて申し上げるまでもなく、市政運

営の要諦は市民ニーズに添った市民生活に密着した市民本位のまちづくりを推進す

ることであります。このことを念頭に、日々の市政運営に当たって参りますので、

Jネットの皆様方には引き続きご支援、

ご提言を賜りますようお願いを申し上げます。

私は本日、木浦市長が参りまして、皆様方に総会のご祝辞を申し上げる予定でございましたが、今日の資料にもお届けしてあるとおり、寺町二丁目の本山淨興

寺の本堂の足掛け九年にわたる大保存修

理工事が本日竣工いたしまして、そちらの方に市長が終日出でおりますので、大変残念ではございますが、本日欠席をさ

せていただきました。市長から皆様方に、是非よろしくということございましたので、お伝えを申し上げたま

いと思つておりますし、また本日の総会に市長から祝辞を預かって参りましたので、私が譲んで代読をさせていただきたいと思つております。

(祝辞)

本日はふるさと上越ネットワーク平成

一六年度総会のご盛会、誠におめでとうございます。Jネットの皆様方には、常

日頃、市政全般に亘る貴重なご助言を賜り、衷心より感謝を申し上げる次第であ

ります。先月の観桜会には「ふるさと交流会」として、ふるさと上越を訪問いた

たとき、本当にありがとうございました。幸い天候にも恵まれ、ふるさとの素晴らしい桜を、心ゆくまで堪能いただけたものと存じております。

さて、市政を取り巻く最近の動きとい

るところではあります。

Jネットでは、今年度からJネット「ふ

るさと上越大使」事業を立ち上げられ、上

越市のさまざまな魅力などをPRのご支援

をいただけるものと伺っております。

本当に心強く深く感謝をいたしております。

Jネットも今年の七月で設立八年目を迎えることになります。今後も東

京の運営委員会事務局の方々と市の事務

局との両輪体制で、機能強化を図りつつ、相互の連携を更に深め、Jネット活動の充実を図っていただきたいと考えております。

ふるさと上越市が今後とも皆さんの誇れるふるさとであり続け、いつまでも皆

地方分権の進展に伴い、自治体も大きく変貌、進化しております。「案内のとおり、現在、上越市を含む周辺十四市町村

で一〇〇年後の地域を見つめた新しさ

につくりについて、真剣に協議をしていましても、これまでにはなかつた新しい

まことにあります。しかしにいたし

までも、これまでにはなかつた新しい

まちの新たな魅力や、伝統文化など、さまざまの顔が見えてくるものと考えてお

ります。市町村合併により住民自治の拡

大が大きい期待できる時こそ、Jネット

の皆様方からは、ふるさとの応援団として、ふるさとのまちづくりへのさまざま

なご支援、ご指導を大いに期待をしてい

るところであります。

上越市長 木浦正幸(代読)



# 意見交換

三浦課長 それでは後ほど私のほうでお受け取りさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

## 北陸新幹線の進捗と合併による新市名について

### 新市名について

意見交換会では、笠原さんから八千浦

地区的環境について、そして、大滝さんから北陸新幹線の進捗と合併による新市名について、市への質問がありました。

### 八千浦地区の環境について

森の中にいると森が見えないんですね。森の中には木々が見えます。

森の中には木々が見えます。

森の中には木々が見えます。

森の中には木々が見えます。

森の中には木々が見えます。

森の中には木々が見えます。

森の中には木々が見えます。

森の中には木々が見えます。

森の中には木々が見えます。

お渡ししておきたいと思います。

いずれにしましても、誇れる上越市を作っていますけど、八千浦地区の黒井・荒浜にまたがる工場残渣の跡が無残な様相を呈しています。私たちの意見を書いてあり

ます。



### 北陸新幹線の進捗状況は…

### 合併による新市名について

笠原さん Jネットの会員で関東八千浦会の会長の笠原です。今日、時間がありませんでしたら私が書いて参りました（文章を）、読ませていただきたいと思いましたが、時間がないので、あとで助役さんと市長さん宛て、あるいは三浦さん宛てにお渡ししておきたいと思います。

大滝さん 大手町出身の大滝でございます。去年も木浦市長にお答えていただいたんですけども、私も故郷から出て来て、現在東京近辺に居る訳ですけれども、一番の関心事は、やはり北陸新幹線の工事の進捗状況です。それから開通の目途ですね。その辺の話はやはり是非、助役さんからいただきたかったなと思います。今年もなにもなかつたのですから、また同じ質問をさせていただきます。

それからもうひとつ、十四市町村の合併の話がありました。来年一月一日という

ことは、知っておりますけども、名前などはどうなんでしょうか。ほぼ日途はいつたんでしょうか。その辺もひとつ是非お聞かせいただければと思います。

大滝さん いづれにしても現段階では平成二十五年頃の開業ということでおちらの方としては承知をしているということでござい

ます。

三浦課長 それでは整備新幹線のほうにつきましては私のほうから、合併につきましては私のほうから説明をさせてい

ます。

新幹線につきましては、最近皆様も新聞等ご覧なっているかと思います。特に北陸新幹線につきましては、平成十二年強後ということで、平成二十五年といふのが今、目標になっております。これが今、国のはうで見直しをしているところでございます。最近の情報によりますと、たとえば二年ほど前倒しになるのではないかというようなお話を出ておりま

す。

大滝さん いたります。

三浦課長 それで、まず最初に、北陸新幹線につきましては、最近皆様も新聞等ご覧なっているかと思います。特に北陸新幹線につきましては、平成十二年強後ということで、平成二十五年といふのが今、目標になっております。これが今、国のはうで見直しをしているところでございます。最近の情報によりますと、たとえば二年ほど前倒しになるのではないかというようなお話を出ておりまして、大手町出身の大滝でございます。去年も木浦市長にお答えていただいたんですけども、私も故郷から出て来て、現在東京近辺に居る訳ですけれども、一番の関心事は、やはり北陸新幹線の工事の進捗状況です。それから開通の目途ですね。その辺の話はやはり是非、助役さんからいただきたかったなと思います。今年もなにもなかつたのですから、また同じ質問をさせていただきます。

大滝さん いづれにしても現段階では平成二十五年頃の開業ということでおちらの方としては承知をしているということでござい

ます。

ません。これは何故かといいますと、編入合併でございますので、上越市に周りの町村が編入するということでござりますので、上越市はそのまま残るということです。

の答えで、時間的に迫ってまいりましたので、あとは懇親会のほうで如何でしょうか。  
どうもありがとうございました。

合併を期して新市の名称を替えるということはないというのが、まず原則でございます。

ただ、上越市の名称を替えられるのは、上越市だけでございますので、あくまで、これは上越市の問題であるということです。合併協議とは切り離して考えております。従いまして今の段階で市の名称を替えるという段階には至っていないといふことがあります。

太田会長 よろしくうなづきますか。今

#### 【参考】

関東八千浦会会長 笠原宇美男さんからJネットの総会で市の方へ文書が手渡され、市の方からはこの文書に対し回答を頂きました。

#### ◆文書の要旨

千浦会では「ふるさと訪問ふれあい懇親会」を企画し、翌日、八千浦地区の沿岸を視察しました。

黒井 荒浜地区のN社敷地内の耐熱煉瓦材料の粉塵・残渣による、自然環境の荒廃に愕然としました。私たちは、いたずらに失われた八千浦の自然をセンチメートルに懐かしんでいるのではなく、自然保護と工業化がいかに両立し経済の成長をもたらし、人類の成長に寄与するかに大きな関心を持っています。

今後、関東八千浦会の目標の一つに「八千浦沿岸自然再生」と定め、様々な運動を開いていきます。

#### ◆文書に対する市の回答

上越市でも、当該地区の状況は把握しております、これまで副産消石灰の利用について、N社及び県、市の内部において検討してまいりました。N社では、「直江津港湾荒浜ふ頭地区公有水面埋立事業」により、残渣を埋立料として利用することについて県と検討しているところです。ただし、経済状況により埋立事業も遅れる予定ですが、市といたしましても県に強く、その利用を働きかけてまいります。

また、平成十三年度に市と地元がまとめた「八千浦地区環境整備構想策定調査報告書」について、N社へも説明し、協力する旨の回答を得ており、今後、行政、地元・企業により、協力してふるさとの環境整備を図ってまいります。いずれにしても皆様の活動とも連携しながら、ふるさとの発展を推進してまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。



# 懇親会

総会終了後、懇親会を開催致しました。

尾崎副会長、榎原相談役の挨拶のあと、野口相談役の「発声」で乾杯により懇親会に入りました。

アトラクションとして、抽選会と利き酒コンテストが行われ、お土産を頂いて皆さん「機嫌でした。」

「豪華抽選会賞品」  
☆ 岩の原ワイン……………5名  
☆ 雁木通り米5 kg……………2名  
☆ くわどり湯つたり村宿泊券……2名  
☆ 花ヶ前氏著書『上杉謙信』……1名  
「利き酒コンテスト賞品」  
☆ 5種類の地酒の利き酒  
「スキ一正宗」  
「能鷹」

「妙高山」  
「越の若竹」

「雪中梅」  
「残念ながら最高的中は3種類でした。  
賞品は雪中梅(720ml)……3名

「出席者全員へのおみやげ」

☆ エスビーカレー  
（エスビーガーリック食品（株）様より）  
☆ 梅干漬け（JAえちご上越様より）  
☆ 正善寺工房のみようがの佃煮







# 議事と平成十六年度事業内容

北陸新幹線収取／ネルト事現場の視察

正善寺工房見学  
蕎麦打ち体験、味噌つくり

②「ネバナロ」の開催  
東京地区会場・毎月第一水曜日

運営委員会事務局を会場」、  
参加費千円

地区別会場 名古屋地区、大阪地区、長野地区で予定  
地区別自主開催への支援（一人あたり千円の補助）

## ◆総会等開催事業

- ① 総会 平成十六年五月二十一日（土）アルカディア市ヶ谷
- ② 第一回文化講演会 五月二十二日（土）花ヶ前盛明先生  
の「上杉謙信公」
- ③ 理事会 第一回 総会開催日（五月二十一日）
- ④ 第二回 平成十七年一月
- ⑤ 運営委員会 每月第一水曜日
- ⑥ （株）社会ノンアコム研究所内

◆広報事業  
① 「広報しようそく」の配布（月一回）  
② 「ネバナロ」の発行（月一回）  
③ 「ネバナロ会報」の発行（年一回）

④ 「ふるさと万葉ンター」の発行（年一回）  
⑤ イベント情報チラシ、特別賛助会員からのお知らせ  
の送付（随時）

⑥ ネバナロの充実とリンクの拡大

◆交流事業  
① 第8回「ふるさと交流（探訪）会

・時期 平成十六年四月九日（金）～十日（土）  
・内容 高田公園「ネバナロ記念樹前に現地集合」

◆会員募集事業  
会員目標 九百人  
その後、予定時間を超過しての活発な意見交換が行われました。

平成十六年度事業計画内容

◆会員募集事業

会員目標 九百人

# 平成16年度 ふるさと上越ネットワーク予算

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

## ■ 収 入

単位:円

科 目	15 年度予算額	16 年度予算額	差 引 増 減	内 訳
会 費	2,975,400	2,935,400	△40,000	・個人会員 @3,000×754人 900人 @2,900×146人
負 担 金	790,000	1,000,000	210,000	・特別賛助会員 @50,000×5団体 ・総会参加者 @5,000×90人 ・文化講演会 @5,000×50人 ・ふるさと交流会参加者 @10,000×30人
交 付 金	4,500,000	4,000,000	△500,000	・市交付金
繰 越 金	1,640,836	2,004,285	363,449	
雑 入	764	315	△449	・預金利子等
合 計	9,907,000	9,940,000	33,000	

複数年入会費預り金 複数年入会費(17年度以降)168人 878,700 収入に見込みます別会計として管理

## ■ 支 出

単位:円

科 目	15 年度予算額	16 年度予算額	差 引 増 減	内 訳
広 報 事 業	5,800,000	5,900,000	300,000	
会員募集事業	1,100,000	1,500,000	400,000	・入会募集チラシ印刷代 400,000 ・会員証印刷 100,000 ・消耗品など 200,000 ・通信運搬費(郵便券、宅配券など) 400,000 ・会員名簿作成費 400,000
広報事業	4,500,000	4,400,000	△100,000	・会報印刷 700,000 ・市立報購入(月1回/A4版) 820,000 ・カレンダー印刷 800,000 ・封筒等印刷 480,000 ・配達料(佐川急便) 1,600,000
交 流 事 業	1,950,000	900,000	△1,050,000	・ふるさと交流会 500,000 ・各地区サロン自主開催補助 200,000 ・消耗品等 200,000
ふるさと支援事業	0	1,000,000	1,000,000	・講演会等事業費 500,000 ・文化講演会事業 500,000 ・ふるさと大使事業 500,000
総会開催事業	1,230,000	1,150,000	△80,000	・理事会、総会開催費 350,000 ・懇親会開催費など 750,000 ・通信費等 50,000
事 務 費	1,127,000	990,000	△137,000	・通信費、手数料、消耗品など 30,000 ・運営委員会事務局費 960,000
合 計	9,907,000	9,940,000	33,000	